南山町遺跡 20A 区・20B 区の主な出土遺物

大溝 054SD 南側断面 (20A 区)









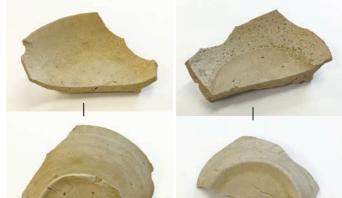


<最下層出土遺物>

- 1,2 古墳時代土師器(台付甕,壺)
- <下層出土遺物>
- 3 須恵器坏身
- <上層出土遺物>
- 4 須恵器蓋

調査地点西半部分(20B区 北から撮影)















- <集石遺構出土遺物>
- 5 灰釉陶器椀 (平安時代)
- 6 灰釉陶器椀(平安時代)
- <集石遺構と同じ上層の遺構>
- 7 山茶碗 (鎌倉時代)
- 8 小皿 (鎌倉時代)
- <包含層出土遺物>
- 9 赤彩壺 (古墳時代初頭)
- 10 灰釉長頸瓶 (平安時代)



愛知県江南市に所在する南山町遺跡では、国道 155 号改 良工事に伴う事前調査として7月~10月の期間で発掘調 査を行いました。

景(北西方向から)/ 撮影 2020.8.28

遺跡は五条川の右岸の標高約16mの自然堤防上に立地し ています。ここは犬山扇状地の扇央にあたり、すでに滅失 したものも含め数多くの古墳の存在が知られてきました。 南山町遺跡のすぐ北側の富士塚古墳(5世紀末~6世紀初?) は後世に改変が加えられたとはいえ、高まりとして実際に 目にすることができます。また五条川の対岸には神福神社 古墳(全長約50m,前方後円墳)や公園が整備されている 曽本二子山古墳(全長約60m,前方後円墳,6世紀)などが 残されています。

対岸にあたる大口町・白木遺跡では、昨年度の発掘調査 ではカマドの付いた竪穴建物跡と掘立柱建物跡、「人」と 刻書された須恵器などがみつかりました。近辺には飛鳥~ 奈良時代の集落の広がりも想定されます。



南山町遺跡周辺の遺跡(地図縮尺1/25,000)



公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802の24 TEL 0567 - 67 - 4163【調査課】

HP http://www.maibun.com/

Twitter https://twitter.com/aichi_maibun Facebook https://www.facebook.com/maibunaichi

〒448-0047 愛知県刈谷市高津波町3

TEL 0566 - 28 - 0880 http://hashimoto-gijyutu.com/

調査支援



橋本技術株式会社 愛知営業所

南山町遺跡は古墳時代から近世にかけての遺跡で された場状の高まり、それより西方では耕作土 あり、調査地点では主に耕地としての土地利用の変の下で多数の土坑や溝などが検出されました。 遷が明らかとなってきました。

り上部が大幅に削られています。川沿いの自然 の遺構の高さまで耕作土 (畑) がみられます。 堤防上のかつての地表面はすでに失われ、調査 円礫からなる集石の広がりの中に古代~中世の で確認されたのは幅約5m規模となる南北方向 陶器片が含まれていました。 の大型の溝(054SD)でした。出土遺物には、最 場状の遺構が北に延びる先には富士塚古墳が 下層:4世紀初めの古墳時代前期土器、下層: あり、大畔や道として利用されていたかもしれ 古墳時代後期須恵器 (7世紀前半)、上層:古代 ません。 (8世紀)の須恵器があり、近辺にはこれらの時 期の集落が存在した可能性があります。

西側(20B区)は埋没した谷状の自然地形が あり、水路跡と想定される古墳時代の溝、整形

調査区西端:盛土(耕作土)の下で検

出された土坑や溝/中世の陶器や土器

谷状の低地部は、少なくとも平安時代には埋 五条川に近い東側(20A区)は開発などによ まっていたと考えられ、鎌倉時代以降には堤状



堤状の高まり表面で検出された溝、 土坑、ピット/現代の撹乱も多く、 同方向に並ぶ細い溝は耕作痕?





土手から落ちたように検出された円 礫の集石に古代・中世の陶器片が混 じる/盛土整地層、地割の境界?





土師器高坏(4世紀)

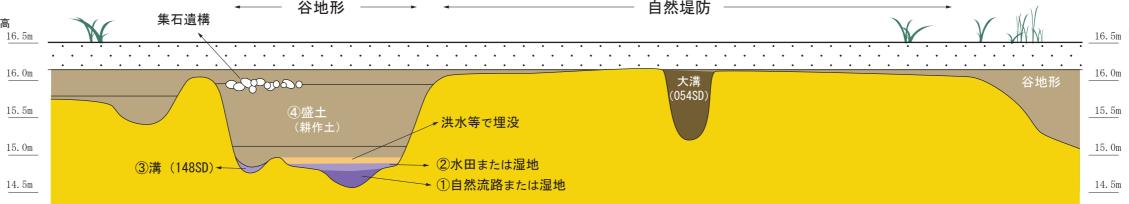
須恵器杯(8世紀)

大溝 (054SD) ①自然流路? (168SD) ③溝 (148SD) ④帯状に円礫の集石 谷地形 浅い凹み ◆②湿地ゕ水田? → 堤状の高まり 近現代撹乱のライン S=1/400溝 (172SD) 谷地形 自然堤防



などの小片が出土

堤状の高まりで検出された 土坑/大小の円礫に古代~ 近世の陶器片が混じる



南山町遺跡 (20A・B) 主要遺構配置図 (上図: 縮尺 1/400) と 断面模式図 (下図: 縦方向縮尺 1/50)